

## 令和5年度第2回春日井市道風記念館運営協議会議事要旨

- 1 開催日時 令和6年3月22日（金）午前10時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 道風記念館 展示室兼会議室
- 3 出席者 会長 安達健治  
委員 川本操代  
武内峰敏  
野田晴義  
長谷川正樹  
日比野典子  
山本祐子  
文化スポーツ部長 大橋弘明  
文化・生涯学習課長 田中芳樹  
道風記念館館長 倉知康雄  
主査 鈴木宏美  
主任 松本邦久  
傍聴者 なし
- 4 議題 (1) 令和6年度事業計画について  
(2) 令和7年度特別展について  
(3) その他
- 5 会議資料 (1) 令和6年度事業計画について  
(2) 令和7年度特別展について
- 6 会議内容 (1) 部長あいさつ  
(2) 会長あいさつ  
(3) 新委員紹介  
(4) 会長職務代理者指名  
会長により、野田晴義委員が会長職務代理者に指名された。  
(5) 議事

## 7 議事内容

### (1) 令和6年度事業計画について

令和6年度事業計画について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

- 安達委員 ・ 展覧会の企画やチラシ、テーマ設定について、いつもよく工夫しており、感心している。
- 山本委員 ・ 今回の企画展「現代の書優品展」のチラシは見たことのないデザインで、目をひき、とてもよい。今年度の企画のラインナップも幅広く、力が入っているのが伺える。岡寺版集帖は特に楽しみである。
- 野田委員 ・ 大河ドラマ「光る君へ」の放送もあり、源氏物語の講座は受講者に喜ばれるだろう。
- 鈴木主査 ・ 昨年市制80周年記念で、文化フォーラム春日井でも書に関わるイベントがされたが、今までに道風記念館は文化フォーラム春日井と連携した企画はあるか。
- 安達委員 ・ これまでも何度か文化フォーラム春日井・ギャラリーで展覧会を開催したことがある。市制80周年記念としては、文化フォーラム春日井を会場として第33回書学書道史学会大会を誘致し、道風記念館で特別展を開催した。また特別展をテーマとした記念講演会が大会で実施された。
- 安達委員 ・ 道風記念館が書のまちの拠点としての役割を担っていくとよいと考える。
- 安達委員 ・ 文化フォーラム春日井での資料作成に道風記念館学芸員が協力するなどしており、よい方向に向かっているように思う。

### (2) 令和7年度特別展について

令和7年度特別展について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

- 山本委員 ・ とても楽しみな企画である。
- 山本委員 ・ 借用先候補として名古屋市博物館が挙がっているが、博物館は現在休館中である。休館中であっても資料貸し出しには応じると聞いている。はやめに依頼するとよいと思う。説明中にあった本阿弥光悦の消息は寄託品であるので、貸し出しが叶うかはわからない。

(3) その他

倉知館長

- ・ 展覧会チラシ配布方法の変更についての説明
- ・ 春日井市組織改正による変更点の説明

武内委員

- ・ 高校で講師をしているが、小野道風や道風記念館について、生徒たちに浸透しているとは言い難い。文化・生涯学習課で書のまちのパンフレットをつくり配布しているが、なかなか授業では扱う時間がない。郷土教育は子どものうちからするとよいだろう。道風記念館を社会見学のコースに組み込むなどできないか。
- ・ 最近は書の仲間から書のまち春日井や道風記念館のことについて話を聞く機会も増え、浸透しつつあることを実感している。
- ・ 伊賀では議員が忍者の姿でPRをするなどしている。例えば議員が色紙を書いて展示するなどメディアに取り上げられるようなことをしてはどうか。

田中課長

- ・ 市全体の小野道風の顕彰、書のまちの推進、継承の話と拝察する。参考とさせていただき、担当課に申し伝えるようにする。

山本委員

- ・ 小野道風の顕彰、郷土文化の継承にもよく力をいれている。また、書をテーマとした道風記念館は、世界的にみてもとても貴重な場所であるので、書や日本文化をもっと広い視野でみた活動をしてもらいたい。

以上のとおり春日井市道風記念館運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事要旨を作成し会長及び出席委員1名が署名する。

令和6年3月27日

会長 安達 健 治

委員 野 田 晴 義